

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 生推-08 文化・教養施設管理事業 <input type="checkbox"/> 支援部門				ザイムスコード及び個別事業名 1113 維持管理業務	
	主管課	生涯学習課 関連課 みどり課、文化財課他				
分野名	歴史環境・文化					
目標 (目標値)	跡地を適切に管理し、一般開放等により市民サービスの向上を図る。 (文化・教養施設整備事業は、経営企画課で作成)					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考		
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	決算値	8,175千円	8,277千円			
	(国・県)					
	(負担金等)					
	(一般財源)	8,175千円	8,277千円			
	人員配置数	1.0人	1.0人			
	人件費	8,848千円	8,792千円			
	協働の パートナー					
事務事業 運営経費	総事業費	17,023千円	17,069千円			
	市民1人当 りの経費	96円	97円			
	対象者1人 当りの経費					
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1) 17haに及ぶ広大な緑地を適正に維持管理するためには、毎年度多額の予算措置が必要である。 (2) 市民参画により、緑地の一部の維持管理を利用者に担ってもらう体制づくりが必要である。 (3) 建物内に机等の備品が残されているため、解体撤去時には処分費用が必要である。				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1) 跡地の入退場管理、巡回、清掃、草刈り等について、鎌倉市シルバー人材センターに委託することにより、経費の節減に努めている。 (2) 定期的に跡地を利用する団体は登録制としており、毎年度、これら団体と調整会議を開催しているが、この会合の中で清掃等の協力を求めている。 (3) 建物内に残されている備品等を市及び関係団体で有効活用し、資源の再利用及び処分費の軽減を図っている。				
	未解決の 課題・問題 点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1) 緑地の維持管理を市民参画により行うための体制づくり。				
	今後の方 針(対応・ 改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1) 緑地の維持管理について、専門業者による整備が必要な部分と、市民参画により実施できる部分との整理を行う。 (2) 跡地を利用する団体等と協議し、維持管理への参画を行うための体制づくりを促していく。				
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性	施設及び敷地の適正な維持管理を引き続き適切に補助執行していく。また、利用者の安全確保を図りながら、財政状況等を踏まえて一般開放日の拡大を検討する。		評価結果	改善の必要性	
B	無			B	無	
課長名		宮崎 淳		部長名		
				植松 芳子		

指標と評価		
指標	敷地の一般開放	
評価	△	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	目標値	実績値
20年度	毎日	週5日
21年度	毎日	週5日
22年度	毎日	
23年度	毎日	
最終年度 (年度)		

課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1) 17haに及ぶ広大な緑地を適正に維持管理するためには、毎年度多額の予算措置が必要である。 (2) 市民参画により、緑地の一部の維持管理を利用者に担ってもらう体制づくりが必要である。 (3) 建物内に机等の備品が残されているため、解体撤去時には処分費用が必要である。	
創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1) 跡地の入退場管理、巡回、清掃、草刈り等について、鎌倉市シルバー人材センターに委託することにより、経費の節減に努めている。 (2) 定期的に跡地を利用する団体は登録制としており、毎年度、これら団体と調整会議を開催しているが、この会合の中で清掃等の協力を求めている。 (3) 建物内に残されている備品等を市及び関係団体で有効活用し、資源の再利用及び処分費の軽減を図っている。	
未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1) 緑地の維持管理を市民参画により行うための体制づくり。	
今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1) 緑地の維持管理について、専門業者による整備が必要な部分と、市民参画により実施できる部分との整理を行う。 (2) 跡地を利用する団体等と協議し、維持管理への参画を行うための体制づくりを促していく。	

評価結果	改善の必要性	施設及び敷地の適正な維持管理を引き続き適切に補助執行していく。また、利用者の安全確保を図りながら、財政状況等を踏まえて一般開放日の拡大を検討する。	評価結果	改善の必要性	寄贈された土地建物について、博物館整備用地以外の未利用地の活用方法が決定するまでの間、適切に維持管理するとともに、市民の跡地活用の推進を図る。
B	無		B	無	
課長名		宮崎 淳	部長名		植松 芳子